

# 湖西市津波防災地域づくり推進計画 第2回意見交換会 (浸水区域外)

～ 地域で安全な未来をつくる会 ～

## 開催報告

日時：令和5年7月23日(日)9時30分～

場所：西部地域センター 2階講座室

### <次第>

1. 開 会
2. 挨拶
3. 第1回意見交換会の振り返り
  - ・湖西市の災害リスク
  - ・災害時の行動
  - ・第1回意見交換会及び沿岸域説明会におけるご意見
4. 意見交換  
テーマ「地域の課題と目指すべき姿」
5. 総 括  
静岡大学 防災総合センター 原田賢治 准教授
6. 閉 会

### <意見交換会の様子>



## ＜意見交換会における意見概要＞

### 「逃げる」に関する課題・不安に思うこと

- 津波の想定、避難所周辺の土砂災害に対する安全性に不安がある。
- 自分の身は自分で守るという考えのもと、持ち出し品の確認や家具の耐震対策、家族間の連絡手段の確保、災害弱者に関する把握、個人情報保護も踏まえた対策が課題。
- 避難経路や避難場所については、土砂災害警戒区域や液状化範囲に該当する場所等の確認が必要。
- 避難ルートに古い橋があり、落橋等により通行できない可能性もあるため、避難ルートを複数確保すること、避難先等の場所を分かりやすく示すことが必要。
- 避難後について、避難生活用備品の備蓄、食料の確保、プライバシー保護や衛生面などの避難所生活における生活の質、地域間の資源の差が不安。
- 同報無線の設置、建築会社などの企業との連携強化、地域の災害時における人材資源の確認、地域別に設定された避難先のルールの見直しが必要。

### 「土地利用」に関する課題・不安に思うこと

- ボランティアの宿泊地や仮設住宅の設置場所を考えてほしい。
- 液状化による家屋への影響、土砂災害による家屋倒壊が不安。

### 「守る」に関する課題・不安に思うこと

- 防潮堤の整備高がレベル2津波に対して足りていない現状がある。
- 防潮堤の機能を見誤らないことが重要。防潮堤の役割は逃げる時間の確保であり、防潮堤があるから安心してはいけない。また、事前対策として子どもへの教育も必要。
- 施設整備については、生活に関連した他の施策とのバランスを考えた方がよい。

### 「その他」課題・不安に思うこと

- 自助の意識、地域内・家族間での防災意識の共有が必要である。
- 地域力が弱まっているため、まずはお互いを把握していきたい。

### 「今後目指すべき姿」

- 自分事として防災を考え、日頃から防災について話し合い、自分から行動する、お互いに助け合えるまちをつくる。
- 災害から生き延びた人が避難所等でも安心して過ごせて、避難生活中に亡くなることのないまちを目指したい。
- 自分の命、財産は自分で守ることを基本としつつ、自治会や地域住民が協力して共助の取組みを行えるようにしたい。